

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	少人数学級推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	公立小・中学校の学級編制は40人を標準としながらも弾力化が認められている。本市独自の教員採用により、小学校高学年（主に5、6年）において少人数学級編成を行い、個に応じた分かる授業を展開し基礎学力の定着（学習指導・進路指導の充実）を図る。また、学習面だけでなく生活面においても、個に応じた細やかな指導（生徒指導の充実）を行い、児童の安定した学校生活の推進を図る。 対象：小学校高学年（主に5、6年）の児童が1学年106人以上、1学級35人以上の児童数を有し、施設面で対応可能な希望学校を対象とする。				
29年度概要	少人数学級推進校8校を対象として、市費で音楽等を教える講師を各校1名採用し、県教委から配置される専科教員を学級担任とし、本市独自の少人数学級編制を行う。				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	小学校5、6年生
意図（どのような状態にしたいか）	個に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、少人数での落ち着いた学級経営を行う。 配置率 = 配置校数 / 対象校数

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
少人数学級市費講師配置人数	人			8	8	8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	少人数学級市費講師配置率	%	目標値			100	100	100
			実績値			100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 少人数学級編制推進校における教育効果を踏まえ、対象校への配置を達成していく必要がある。 (目標達成度)			(達成度) 100.0% 35点				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 小学5、6年生のうち、6年生を中心に配置を進めており、今後必要に応じた充実を図っていく必要がある。 (目標達成度)			(達成度) 100.0% 35点				
成果指標	高松市独自の少人数学級編制校数	校	目標値			8	8	8
			実績値			8		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 小学5、6年生のうち、6年生を中心に配置を進めており、今後必要に応じた充実を図っていく必要がある。 (目標達成度)			(達成度) 100.0% 35点				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 小学5、6年生のうち、6年生を中心に配置を進めており、今後必要に応じた充実を図っていく必要がある。 (目標達成度)			(達成度) 100.0% 35点				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	22,231	30,908	32,445	33,262
（事業費）	[円]	14,850	23,231	24,594	25,411
（職員人件費）	[円]	7,381	7,677	7,851	7,851

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

少人数学級編制推進校における教育効果を踏まえ、推進校の拡充を図っていくことは、施策の目的に沿っており、効果は高いと考えられる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

少人数学級編制の教育効果が大変大きいことが確認されており、他の学校、保護者、さらに地域からも少人数学級編制を望む声強いことから、充実を検討する必要がある。